

長野県教育委員会 御中

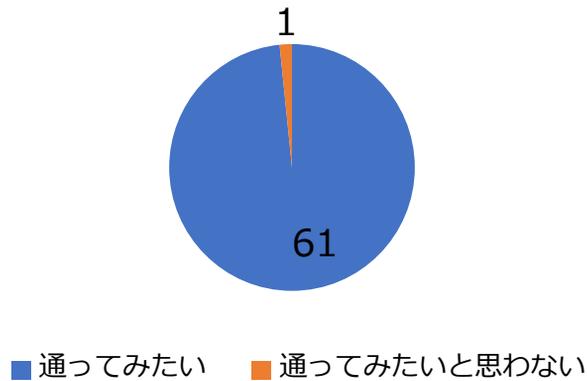
長野県内における夜間中学 設置二一ズ調査業務調査結果報告書

2023年11月

目次

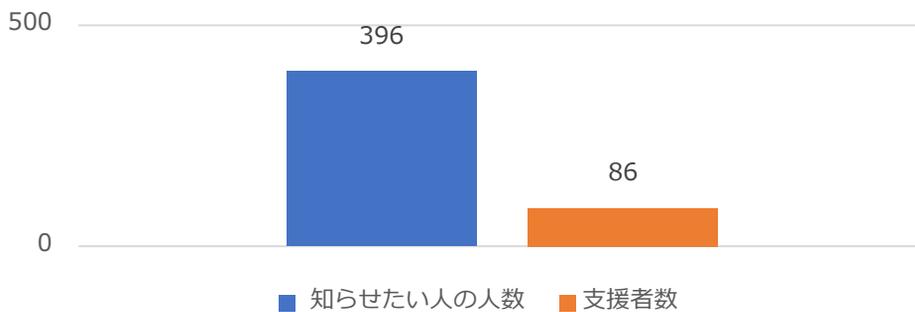
当事者	通ってみたい方の数	03
支援者	紹介したい人の数	03
当事者	国籍/年齢	03
当事者	地域別 学齢経験者/学齢期	04
当事者	北信 市町村別 学齢経過者/学齢期	04
当事者	東信 市町村別 学齢経過者/学齢期	04
当事者	中信 市町村別 学齢経過者/学齢期	05
当事者	南信 市町村別 学齢経過者/学齢期	05
当事者	入学の理由	06
当事者	通ってみたい理由	06
当事者	地域/通ってみたい理由	07
当事者	地域/入学の理由	07
当事者	北信/通ってみたい理由	08
当事者	東信/通ってみたい理由	08
当事者	中信/通ってみたい理由	09
当事者	南信/通ってみたい理由	09
当事者	年齢/地域	10
当事者	通学方法/時間	10
当事者	最終学歴/年齢	10
当事者	要件を満たさない大卒等/地域/通ってみたい理由	11
当事者	年齢/通ってみたい理由	11
当事者	年齢/自由記載	12
当事者/外国籍	外国籍/地域/通ってみたい理由	14
当事者/外国籍	北信/外国籍	14
当事者/外国籍	東信/外国籍	14
当事者/外国籍	中信/外国籍	15
当事者/外国籍	南信/外国籍	15
支援者	地域別	16
支援者	知らせたい理由	16
支援者	北信の市町村別	17
支援者	東信の市町村別	17
支援者	中信の市町村別	17
支援者	南信の市町村別	18
支援者	夜間中学を知らせたいと思う人	18
当事者	北信/最終学歴/年齢	19
当事者	東信/最終学歴/年齢	19
当事者	中信/最終学歴/年齢	19
当事者	南信/最終学歴/年齢	20
当事者/支援者	北信の市町村別	21
当事者/支援者	東信の市町村別	21
当事者/支援者	中信の市町村別	21
当事者/支援者	南信の市町村別	22
支援者	自由記載	23
総括		27

当事者（夜間中学に通ってみたい方の数）



・アンケートに回答者のほぼ全員が夜間中学に通うことを希望している。

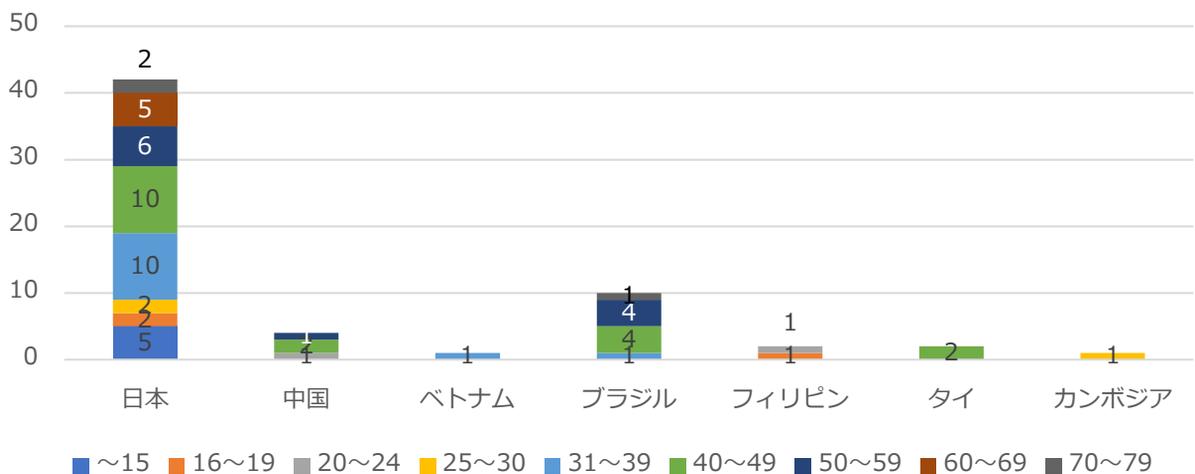
支援者（紹介したい人の数）



※支援者：夜間中学に通うことを勧めたいと考える方と関係のある方（支援団体・地域の方・保護者など）

・支援者1人あたり4.6人の「紹介したい人」を持っている。

当事者（国籍/年齢）



・日本では31-39、40-49の層がボリュームゾーンである。

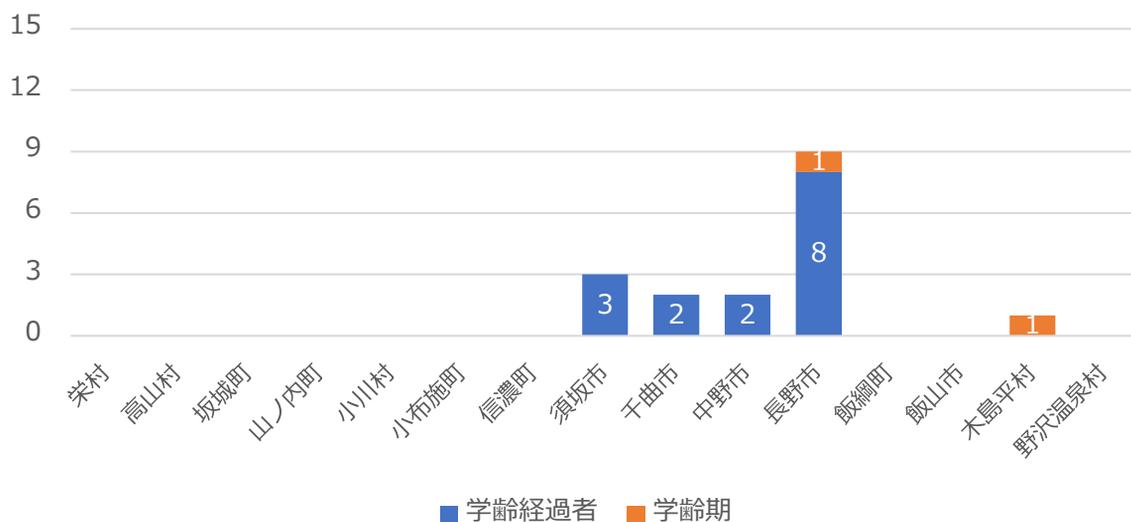
・外国ではブラジルの割合が多く、40-49、50-59の年齢が多いことがわかる。

当事者（学齢経過者/学齢期）

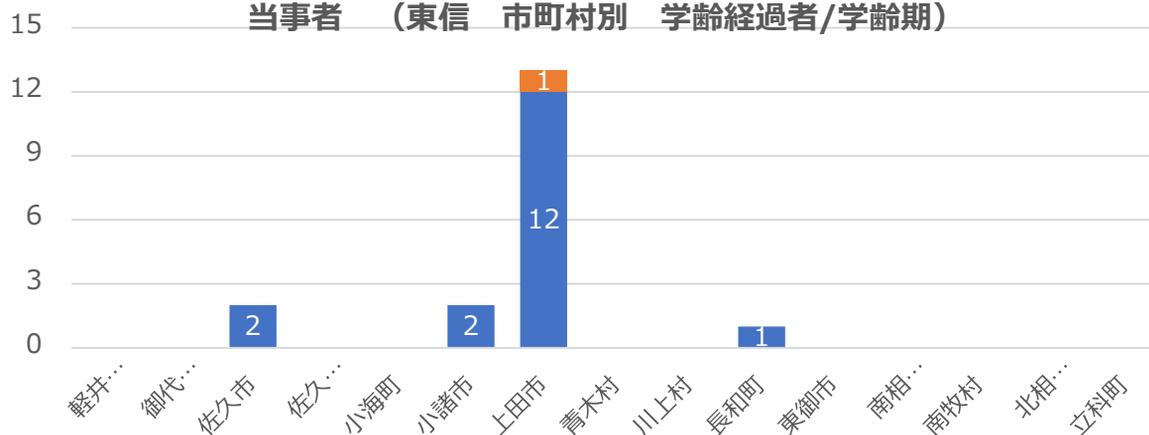


- ・学齢期（-15歳）の割合は各エリアで大きな差は見られない。
- ・全体のボリュームでは比較的中信エリアが少ない傾向である。

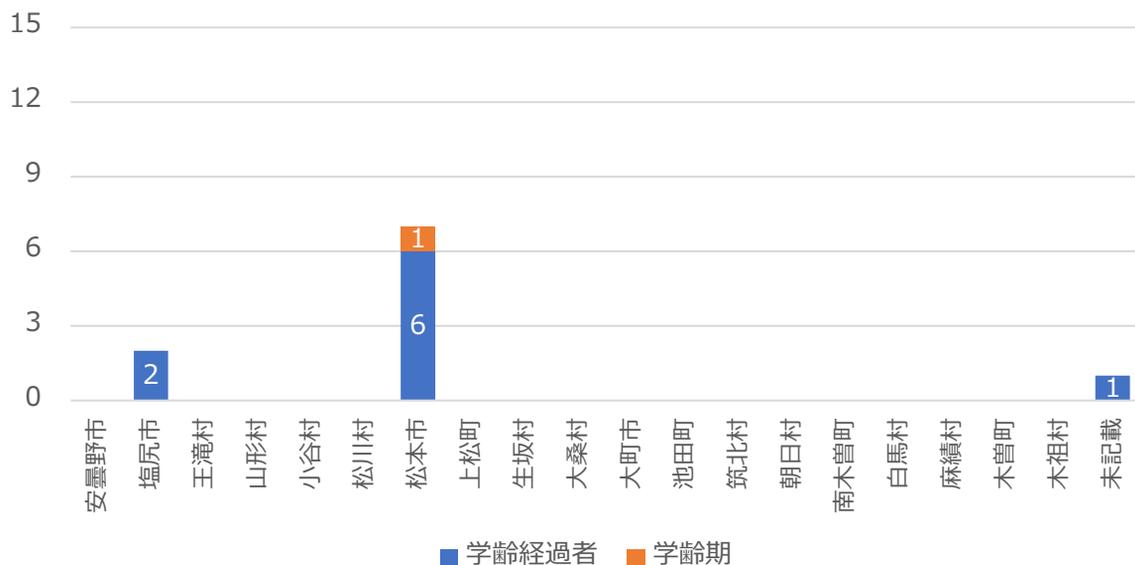
当事者（北信 市町村別 学齢経過者/学齢期）



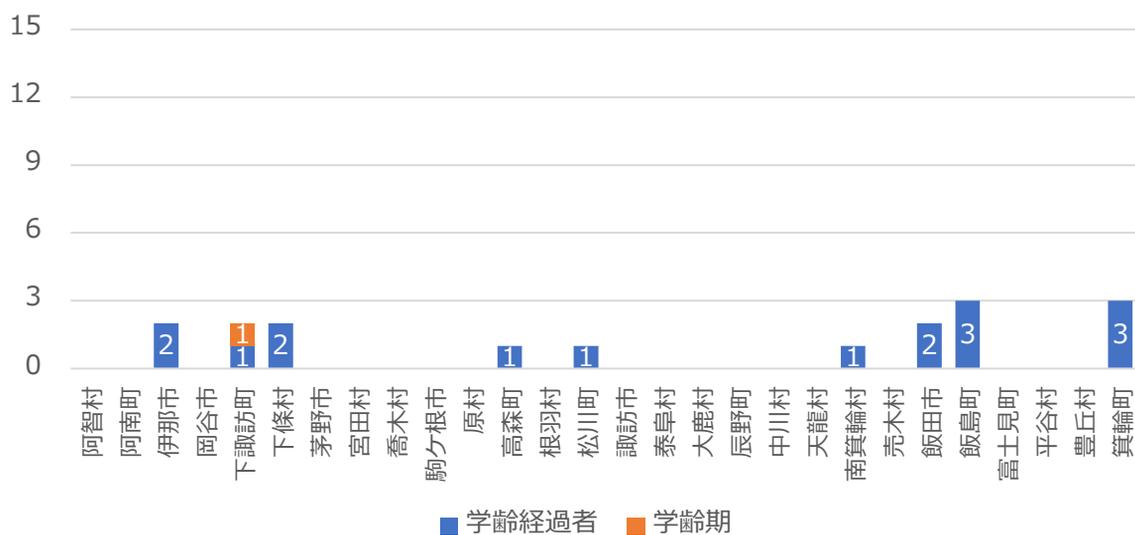
当事者（東信 市町村別 学齢経過者/学齢期）



当事者（中信 市町村別 学齡経過者/学齡期）

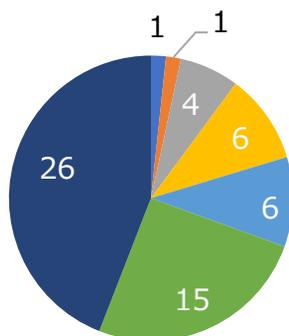


当事者（南信 市町村別 学齡経過者/学齡期）



- ・北信、東信、中信の3エリアは主要都市に当事者が集中する傾向。
- ・南信エリアについては各市町村にごとにばらつきが見られる。

当事者（夜間中学入学の理由）



- 戦後の混乱期に、さまざまな事情により、中学校に行くことができなかった方
- 義務教育を卒業できていない
- 日本の中学校にあたる教育を十分に受けていない外国籍の方
- 現在不登校や家庭の事情等で中学に通えていない方
- 日本の中学校にあたる教育を十分に受けていない外国籍、または、外国に由来のある方
- この中にあてはまるものはない方
- 中学校を卒業したものの、何らかの理由により、ほとんど学校に通えなかった方

- ・多くが何らかの理由で中学校に通えない、もしくは中学を卒業したものの通えなかった等の理由が多く見られる。
- ・外国籍が所以の割合は全体の17%だった。

当事者（夜間中学に通ってみたい理由）

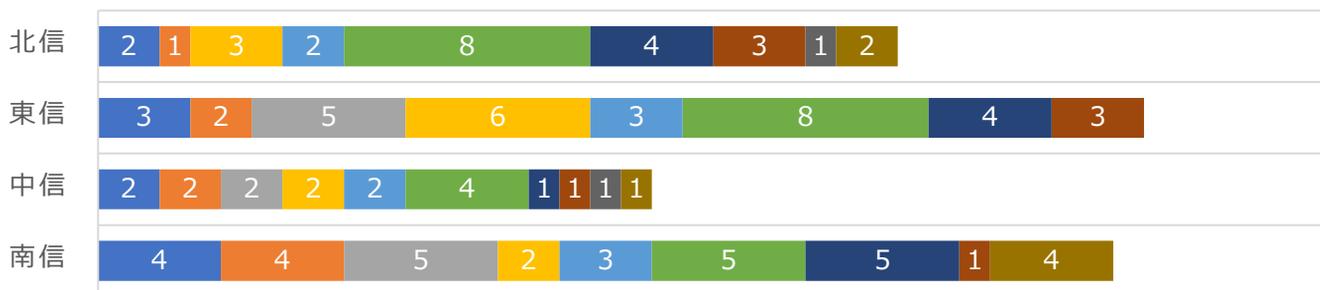


- 現在中学校に通えていないから
- 高校へ進学したいから
- 読み書きができるようになりたいから
- 日本の文化や社会について学びたいから
- 仕事のために学びたいから
- その他
- 日本語を話せるようになりたいから
- 友達をつくりたいから
- 日本の中学校を卒業したいから
- 中学校は卒業したが、もう一度学び直したいから

- ・大きな偏りはなく、当事者の様々なニーズが存在していることがわかる。
- ・特に学び直しのニーズは強い傾向である。

当事者（地域/通ってみたい理由）

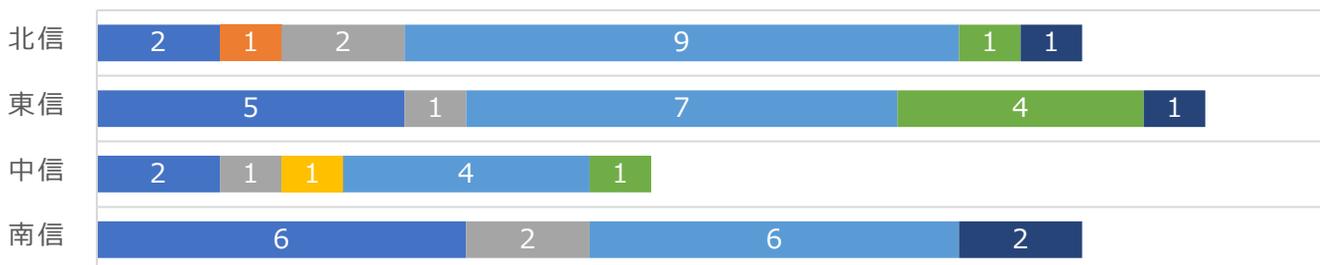
- 友達をつくりたいから
- 日本の文化や社会について学びたいから
- 読み書きができるようになりたいから
- 仕事のために学びたいから
- 現在中学校に通えていないから
- 日本語を話せるようになりたいから
- 日本の中学校を卒業したいから
- 中学校は卒業したが、もう一度学び直したいから
- 高校へ進学したいから
- その他



- ・ 中学卒業経験者の学び直しニーズは各地域に見られている。
- ・ 外国人由来のニーズは東信、南信で高い傾向である。

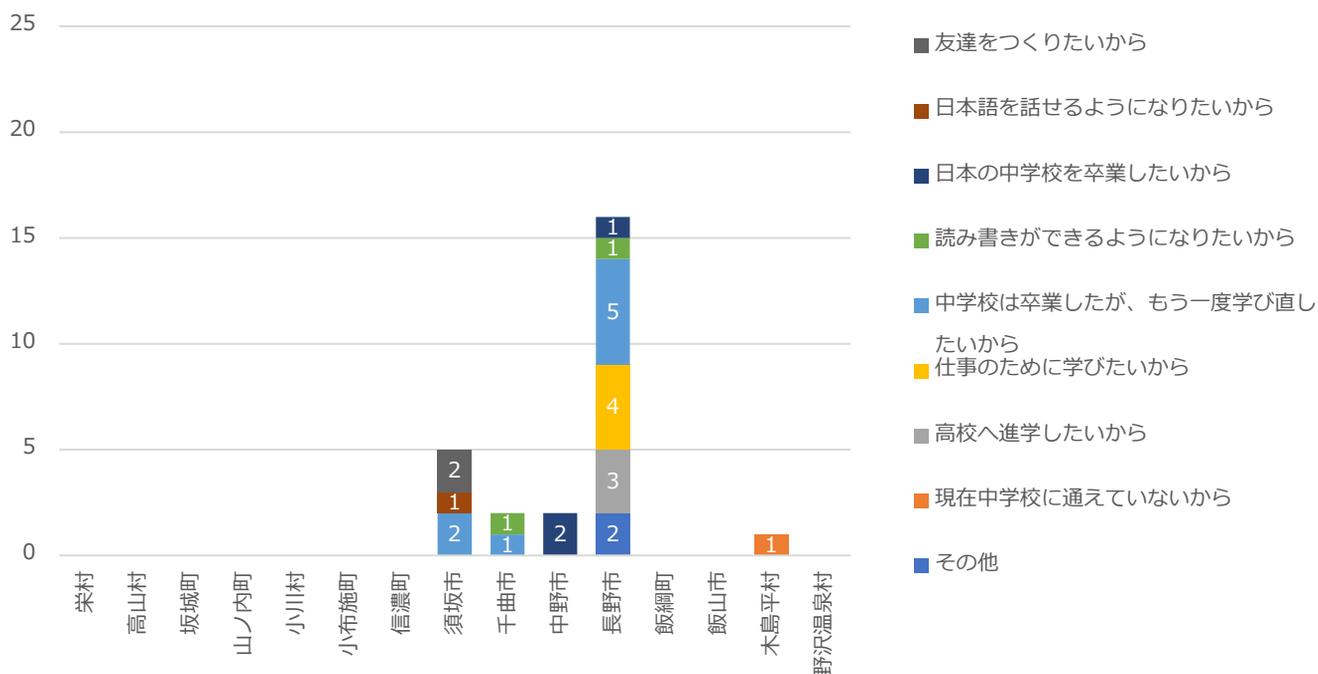
当事者（地域/入学の理由）

- この中に当てはまるものはない方
- 義務教育を卒業できていない
- 現在不登校や家庭の事情等で中学に通えていない方
- 戦後の混乱期に、さまざまな事情により、中学校に行くことができなかった方
- 中学校を卒業したものの、何らかの理由により、ほとんど学校に通えなかった方
- 日本の中学校にあたる教育を十分に受けていない外国籍、または、外国に由来のある方
- 日本の中学校にあたる教育を十分に受けていない外国籍の方



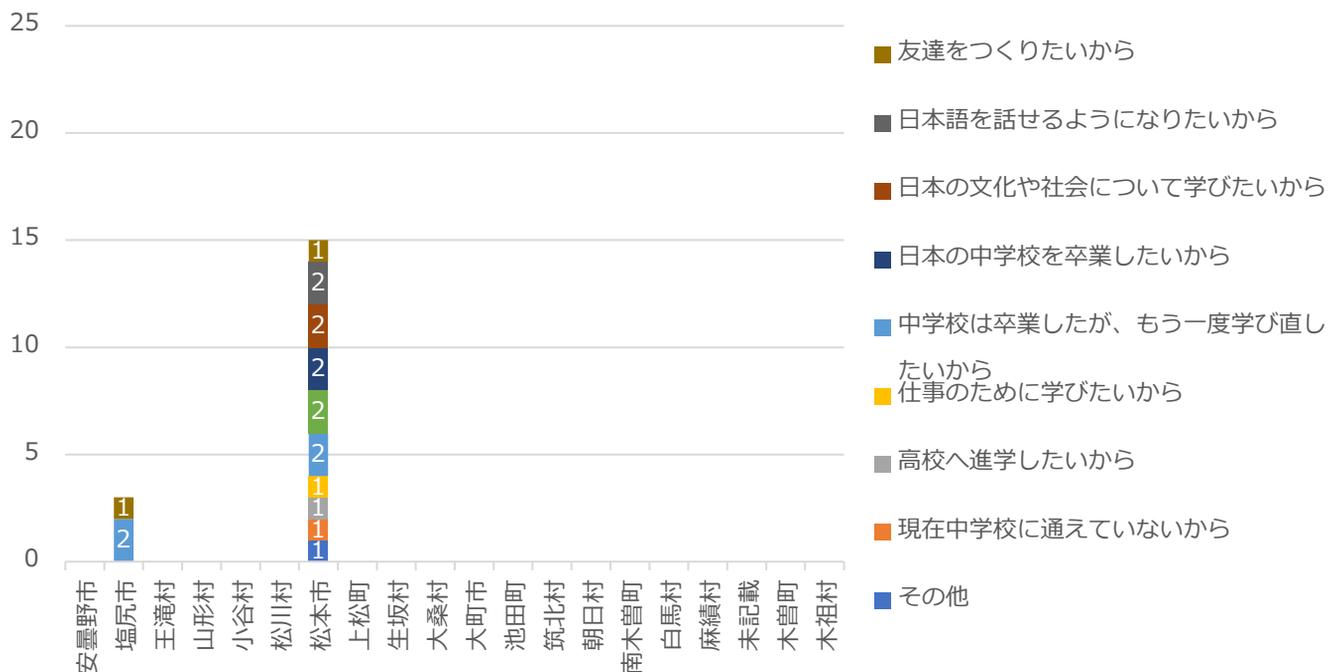
- ・ 中学卒業したが、学び直したいニーズが各エリアで多く占めている。
- ・ 「この中に当てはまるものはない方」が東信、南信に多く占めており、ニーズの多様さがうかがえる。

当事者（北信/通ってみたい理由）



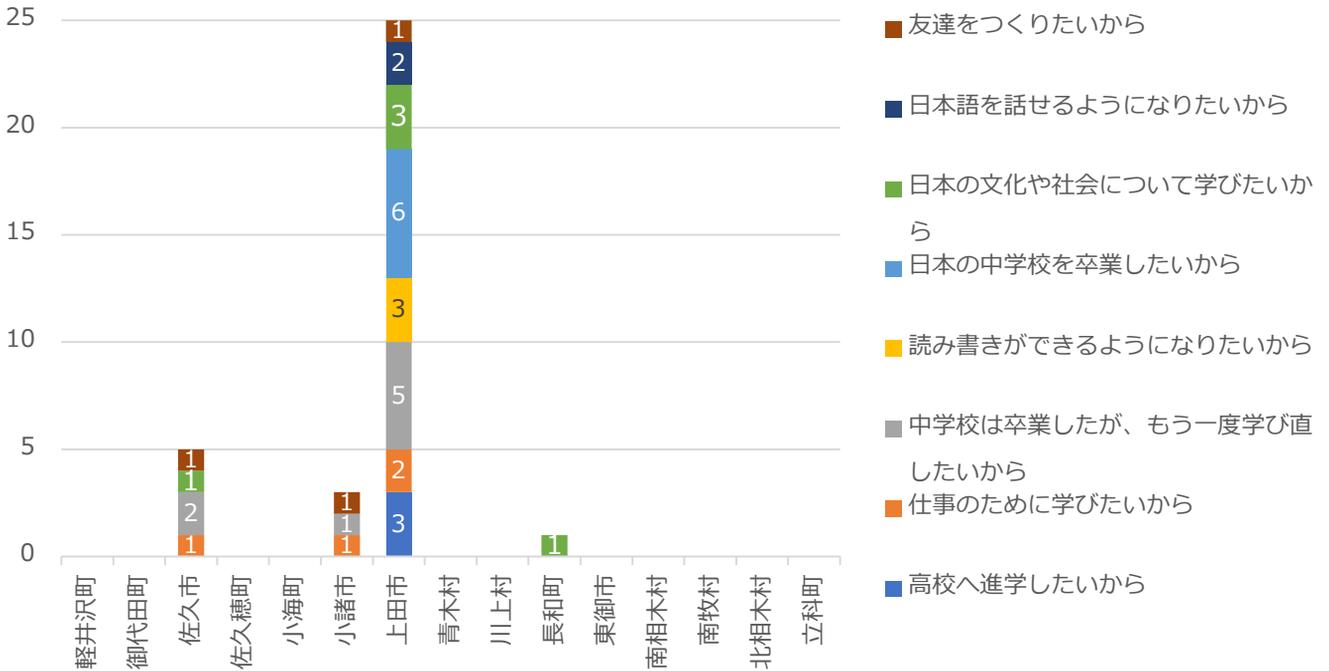
- ・長野市では学び直しの需要が高いことがわかる。
- ・須坂市では友達をつくりたい需要がみられ、コミュニケーションの手段として検討していることがわかる。

当事者（中信/通ってみたい理由）



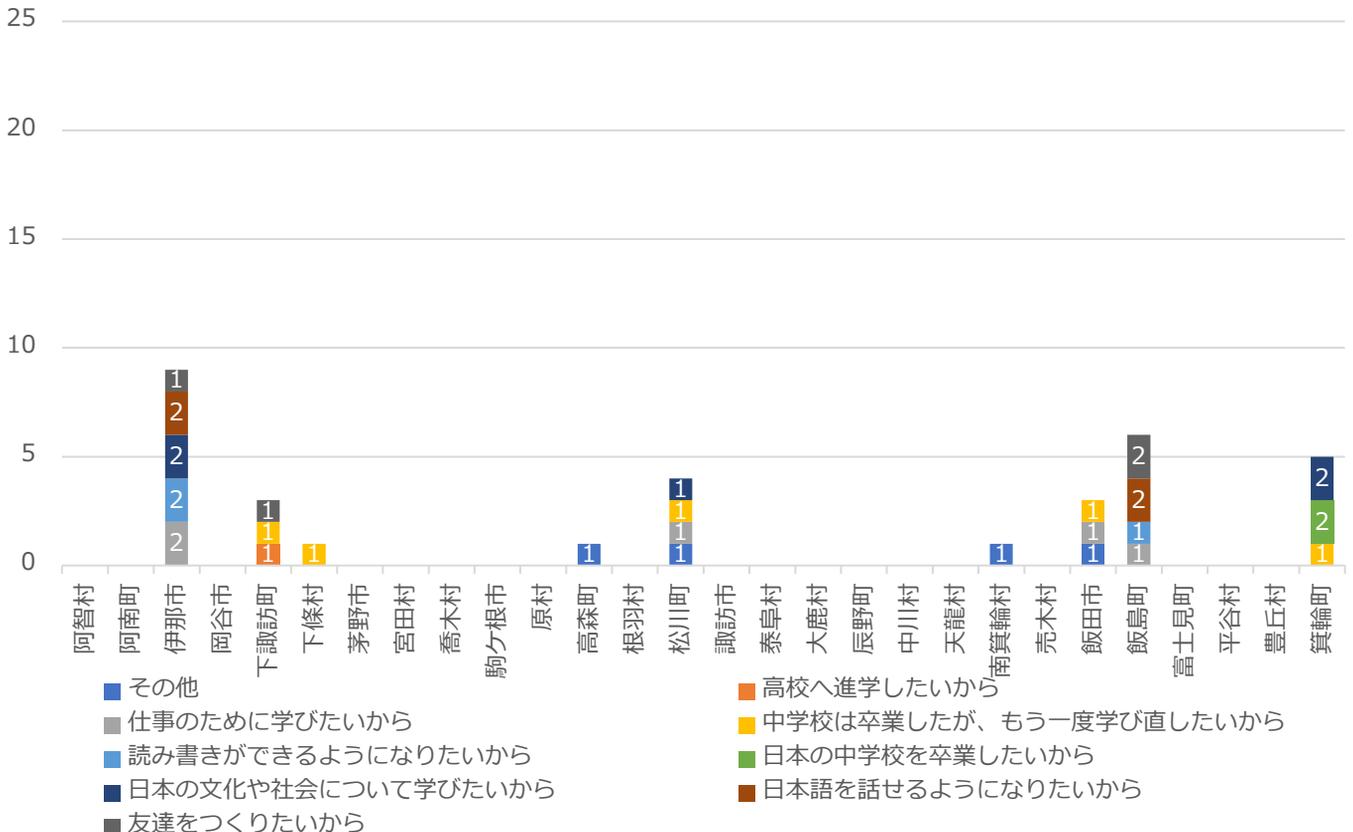
- ・中信エリアではニーズの偏りはない傾向。

当事者（東信/通ってみたい理由）



・上田市では「日本の中学校を卒業したいから」が多く含まれている傾向。

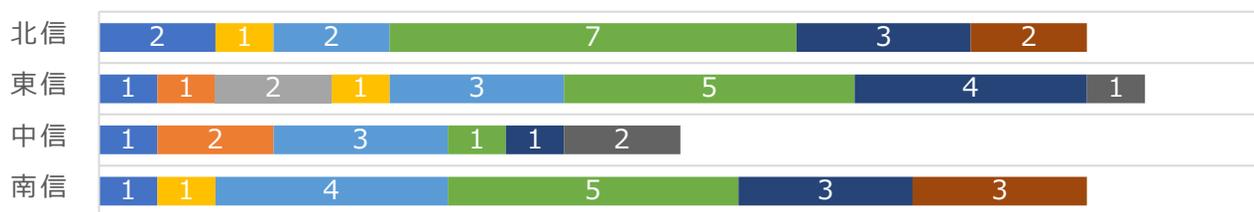
当事者（南信/通ってみたい理由）



・「仕事のために学びたいから」「中学は卒業したが、もう一度学び直したいから」が各地域に見られる。

当事者（年齢/地域）

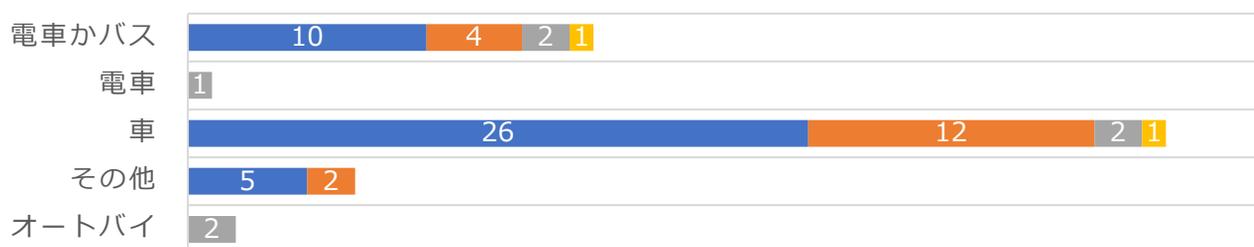
■ ~15 ■ 16~19 ■ 20~24 ■ 25~30 ■ 31~39 ■ 40~49 ■ 50~59 ■ 60~69 ■ 70~79



- ・各エリアでは31歳以降のボリュームが多い傾向である。
- ・中信エリアのみ高齢層は他のエリアと比べ少ない傾向。

当事者（通学方法/時間）

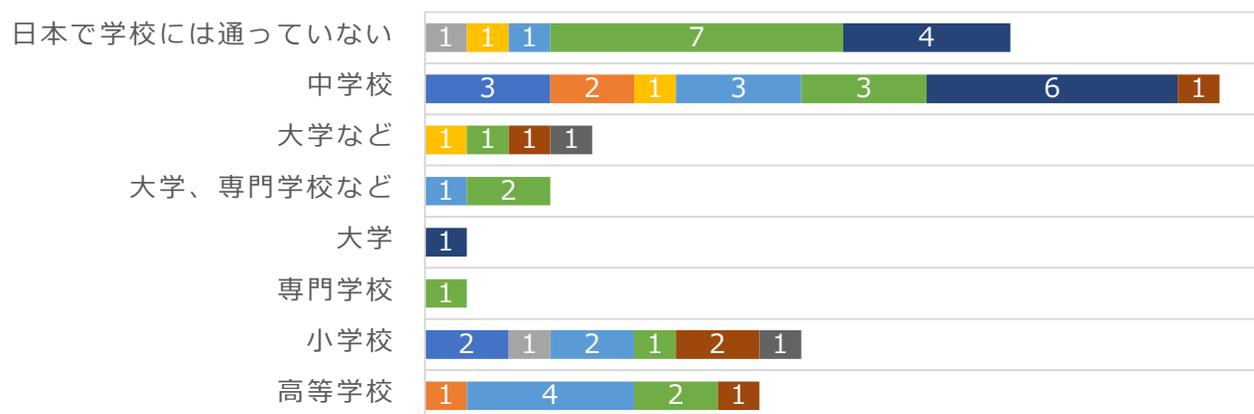
■ 30分以内 ■ 1時間以内 ■ 2時間以内 ■ 3時間以内



- ・主な通学方法は車が多くを占めている。
- ・それぞれ30分以内での許容を示しているが、車に限っては1時間以内も許容としている。

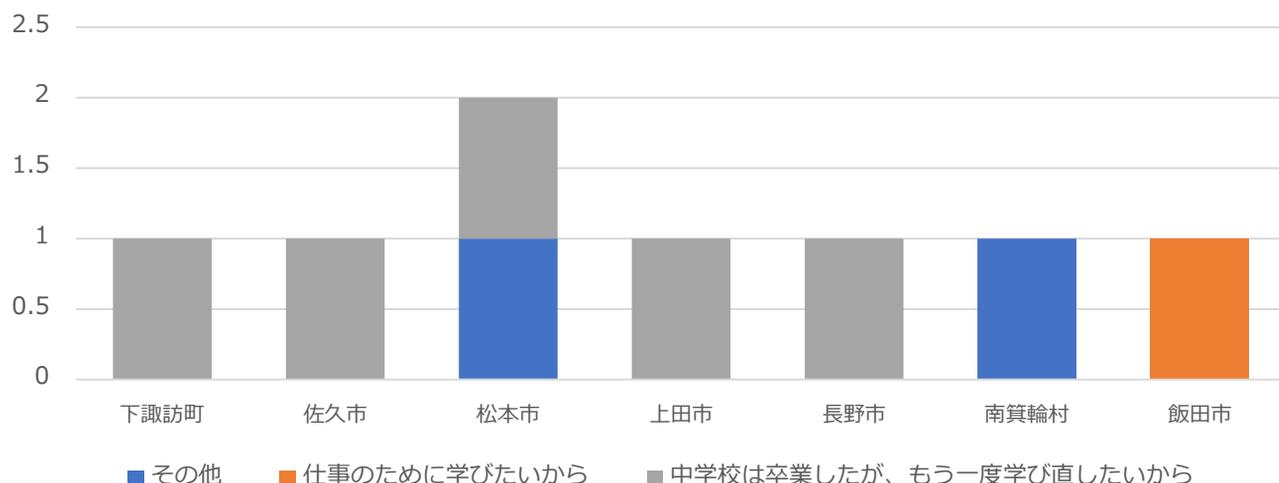
当事者（最終学歴/年齢）

■ ~15 ■ 16~19 ■ 20~24 ■ 25~30 ■ 31~39 ■ 40~49 ■ 50~59 ■ 60~69 ■ 70~79



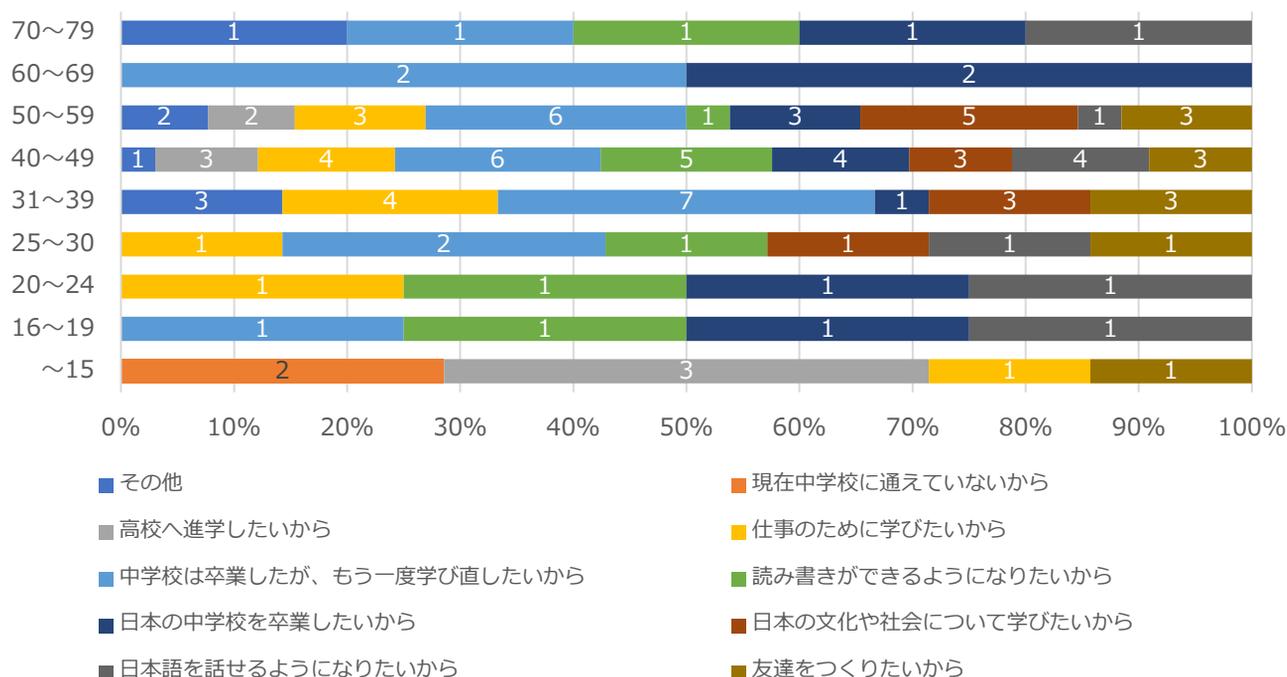
- ・中学校を卒業した当事者が多くを占めている中、小学校、高等学校も一定数見られる。
- ・日本で学校には通っていない（外国籍と思われる）は40歳以降の層が多くを占めている。

当事者（要件を満たさない大卒等/地域/通ってみたい理由）



- ・大学、専門学校で抽出。
- ・松本市のその他は「克服できない科目があり、基礎から学び直したいから」、南箕輪村のその他は「当てはまるものはありません」だった。
- ・学び直しの需要が高いことがわかる。

当事者（年齢/通ってみたい理由）



- ・15歳までと16歳以降ではニーズが大きく異なる。
- ・15歳までは中学への通学再開、高校への進学の需要が高く、16歳以降では学び直しのニーズが高い。
- ・31歳以降では仕事のための学び直し需要が高く、実生活に活かすために通学を希望しているニーズが見られる。

当事者（自由記入欄）

年代	4. ご意見 (たとえば、こんな学校なら通ってみたい。 こんなことを学びたい。 など)
～15	みんなと同じように授業を受けた内申点もつけてほしい。
16～19	日本語をもっと勉強するために学校に行きたい、そして友達も作りたい。 (i want to go school to learn more in japanese language and study and i want to make friends)
20～24	小学校の勉強を学び直したい。タイ語ができる日本人教師に学びたい。 (อยากเรียนเบื้องต้น ของการศึกษามากประถม อยากเรียนกับอาจารย์คนไทย ที่พูดภาษาไทยได้ สื่อสารภาษาได้)
25～30	日本人と喋ったら、日本語が上手になると思います
25～30	<p>幼い頃から集団行動が苦手で学校という空間もとても苦手でした。小学4年生で担任の先生が変わった時、その担任の先生は気に食わない事があると子供達にあたるような人で嫌だなと思っていたら、いつのまにかその先生は私を標的にするようになりました。それから小学5年生になる頃にはその先生によるいじめが原因で心が壊れてしまい、小学5年生から中学3年生までまともに登校することはできませんでした。</p> <p>大人になった今社会人を10年近くやりましたが、やはり幼い頃からの人間不信な気持ちは長く仕事をすればするほど大きくなり、ついに限界を迎え精神病を拗らせてしまい、この春会社を退職しました。学歴コンプレックスがあるため新しい環境へ踏み込むこともできず悩んでいたところに、夜間中学のチラシが目に残りました。これから先も自分がまだ生きていていいんだと思えるように、学ぶことからやり直したいです。</p> <p>私は過度にコミュニケーションをとる事や集団行動、集団の前に立ち1人で発言する事などにとっても強いストレスを感じてしまうのですが、「必ず授業中は発言をしなければならない」「空いた時間は周りとお話をしなければならない」など学校のルールはありますか？ 発言や発表の場が本当に苦手なのでそれらが無いのであればとても嬉しいです。</p> <p>学のない自分は挑戦もせずに諦めることが多く、自分から行動することがずっとできずにいたのでこのような学ぶ機会を覚えていただけた事が何より嬉しく幸せに思います。素敵な学校になりますようお願いしております。</p>
31～39	<p>私は6才から病気で小学校もたまにしか行けませんでした。勉強もできてなく中学校から高校生まで養護学校に行きました。それも毎日ではなく行ける時行けて半日まででした。卒業してから自分で勉強しようといういろいろやってみたけど、どうやっていいかわからないし、嫌になって、続きませんでした。どうやっていいかわからなくて…あきらめてました。それで、この夜間中学できた学び直しのチラシをみて、ぜひやって欲しいと思いました。ずっと夜間中学がないかなって思っていました。元不登校の人達も私みたいに病気で行けなく勉強が出来なかった人も多いと思うので、ぜひぜひ夜間中学を初めて欲しいのでよろしくお願ひします。</p>
31～39	飯田市内に出来たら通いたい。国語の漢字や文法、社会や理科、英語など、今から恥ずかしく人に聞けない。学び直して仕事にいかしたい。ぜひ、飯田市につくって欲しいです。
31～39	夜間でも明るい環境で勉強がしたいです。
31～39	まず始めに、夜間中学の開設の検討をしていただいたことに感謝します。 教育県といわれている長野県に1つも設置が無いことを前から思うところが有りました。 空き教室が有るならば昼間の時間に通いたいとは思っています。 夜勤在職者には通えないので。
31～39	事情があり3年間不登校でした。夜間中学ができたならぜひ通いたいです。

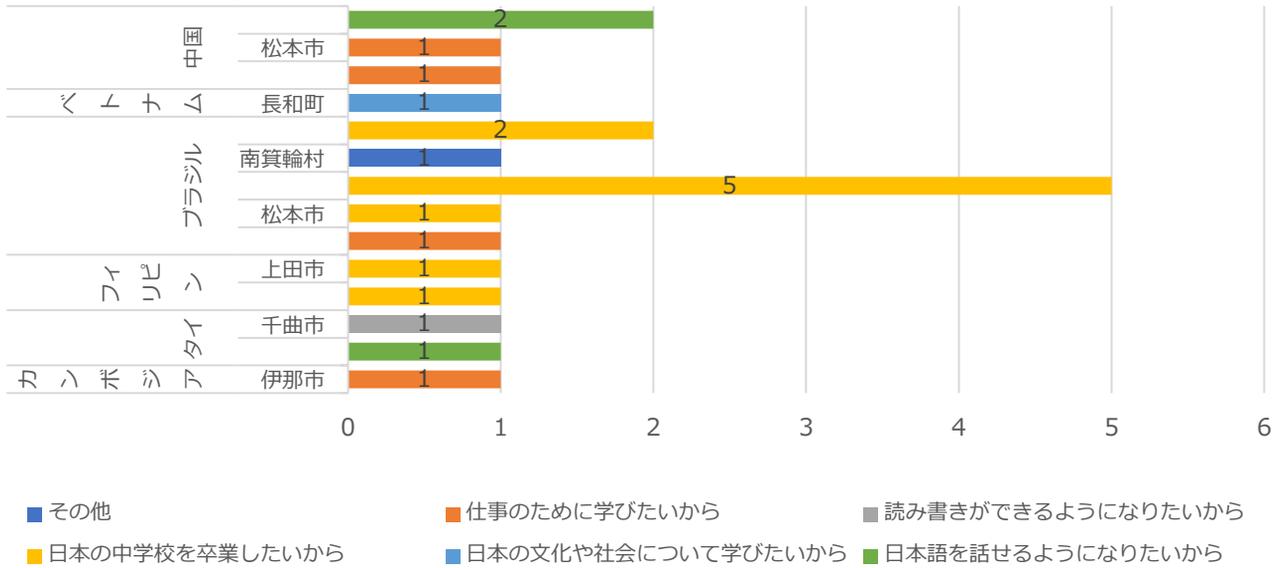
- ・ 24歳までは外国人籍が多く、日本語を学ぶ、中学の学び直しの需要が見られる。
- ・ 39歳までの層は何らかの理由で不登校になったことから学び直しをしたいニーズが見られる。仕事など、これからの生活に活かすための手法として夜間中学を選んでいる傾向である。
- ・ 病気やいじめなど不登校の要因が明確な記述されている。
- ・ 「ぜひ通いたい」「学ぶ機会を考えてもらえて嬉しい」等、夜間中学を強く望んでいたニーズが文面からうかがえる。

当事者（自由記入欄）

40～49	夜間中学行きたいけど3歳の娘いますので別の時間お勉強できるかな？
40～49	高校卒業しましたが、今で言う学習障害や、発達障害で勉強が全くできず今では、子供に勉強を教えることが出来ません。少し私にあった勉強方法を、教えてもらいたいです。
40～49	私は障害があります。障害者です。小学校、中学校とイジメにあつて学校へ行けなくなりました。学校へ通いたいです。囲碁、将棋、勉強、音楽やりたいです。
40～49	学校へ通っているときは、イジメられていてとても勉強に集中する事が出来ませんでした。家庭でも問題があり、諸々の問題を抱えたまま歳月が過ぎていきました。現在は社会生活も多少経験しましたが、未だに自分に自信が持てずに実家で養ってもらっている状況です。 もうすでに40代ですが、学校へ学び直しをさせてもらい勉強の仕方の感覚を覚えさせてもらいましたら、せめて何か資格などをもって自分の食べていけるだけの収入と学び続けられる習慣などが身につけばと思っています。
40～49	小学校から不登校だったため、中学の勉強についていられない場合、小学校の算数から(補習) 教えていただきたい
40～49	日本語が学べる環境がほしいです（想有一个学习日语的环境）
40～49	分からないまま諦めてしまったことをもう一度勉強してみたい
40～49	日本語が学べ、より多くの人と出逢える環境がほしい。（我想有一个学习日语的环境，多认识一些朋友）
50～59	私は国語、漢字、社会、理科だけ学びたいですけど、可能でしょうか？
50～59	近くに夜間中学校があることは夢が叶うようなことです。今まで独学で覚えた小学校の漢字を役に立つでしょう。現在、中学の漢字を勉強中です。日本語が大好きです。日本の学校の国語と文学を習いたいです。歴史も好きです。数学は難しいかもしれませんが頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
50～59	以前、常総市や川口市へ通う事を検討しましたが、不便です。長野県内の駅から歩いて行ける範囲の距離なら便利です。新幹線の停車駅はもっと良いです。上田駅、佐久駅(暗いイメージがありますが)、長野駅。松本市は電車で遠回りになります。車で通うことになります。熊谷駅も新幹線で早いです。高崎市も行けます。上田市だったら、上田高校と第二中学校が駅から歩いて行けます。文学を学びたいです。よろしくお願いします。
50～59	また中学校に行きたいからです。
50～59	また中学校に行きたいです。
50～59	一般常識を学びたい。人と話が成り立つようになりたい。恥ずかしい思いをしたくない。
60～69	不登校の子が沢山いて苦しんでいます。 学びの機会を作って欲しいと願います。
60～69	家庭の事情でイジメにあい満足に学校へ通うことが出来なかったため、学び直したいと切実に願います。
70～79	様々な理由（事情）があると思いますが、後悔しない生き方をしたい（ちゃんと勉強しておけばよかったと思いつけていたくない）と考えています。

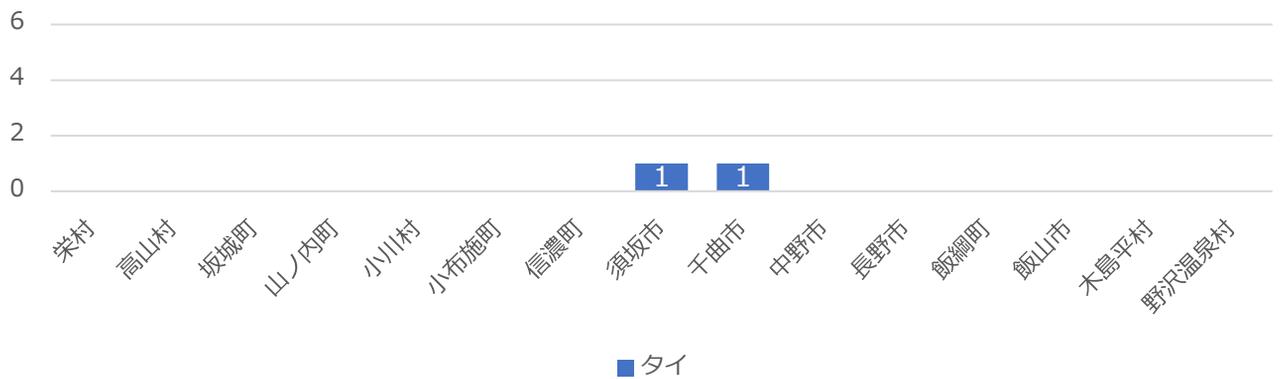
- ・40-49歳では自身の障害が要因で満足な学習ができなかった発言が見られた。ある程度時間が経ち、新たにスタートを切るきっかけとして夜間中学を検討しているニーズがうかがえる。
- ・50-59歳では県外の夜間中学通学を検討しているニーズもある。一般常識を学び直して恥ずかしい思いをしたくないという思いがうかがえる。
- ・60歳以上では後悔しない生き方をしたい等、人生を踏まえた学び直しを検討しているニーズが見られる。

当事者（外国籍/地域/通ってみたい理由）

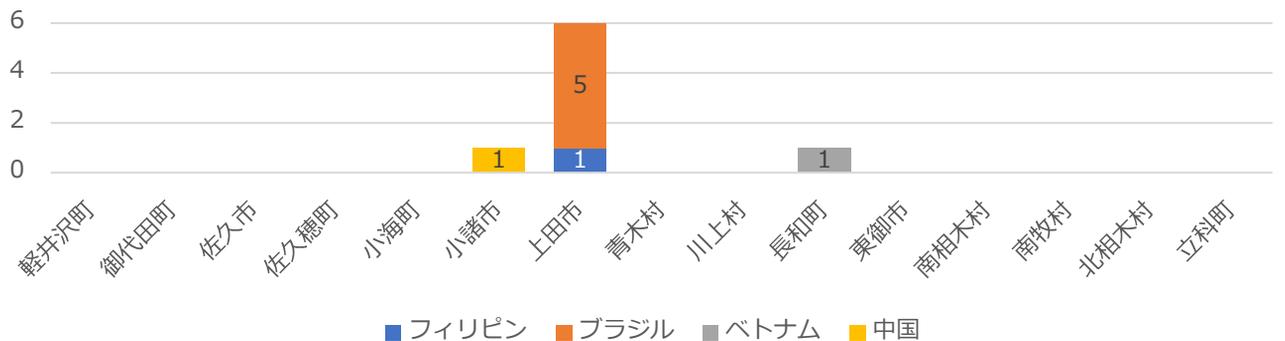


- ・「日本の中学を卒業したい」ニーズを持ったユーザーが、ブラジル、フィリピンで多い傾向。
- ・外国人の比率は上田が多い傾向。

当事者（北信/外国籍）

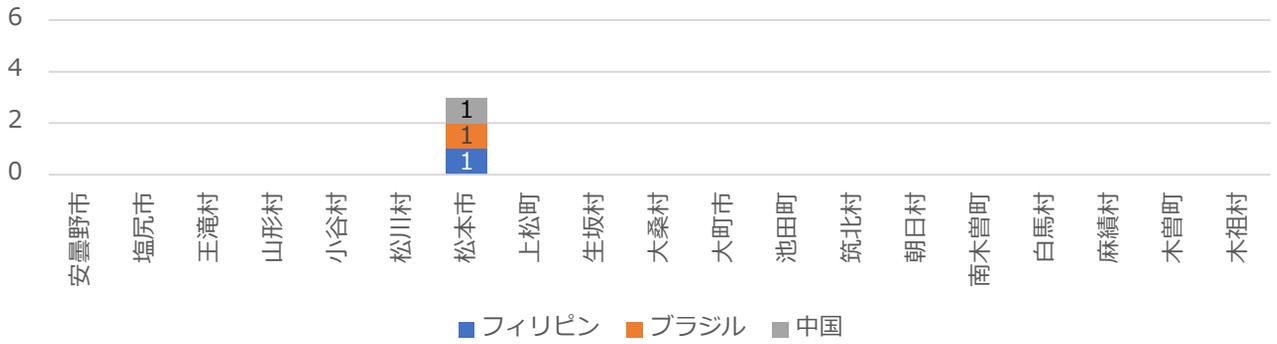


当事者（東信/外国籍）



- ・長野市では外国人の当事者は含まれなかった。
- ・東信では上田市での外国人比率が高く、ブラジル人が多い傾向。

当事者（中信/外国籍）

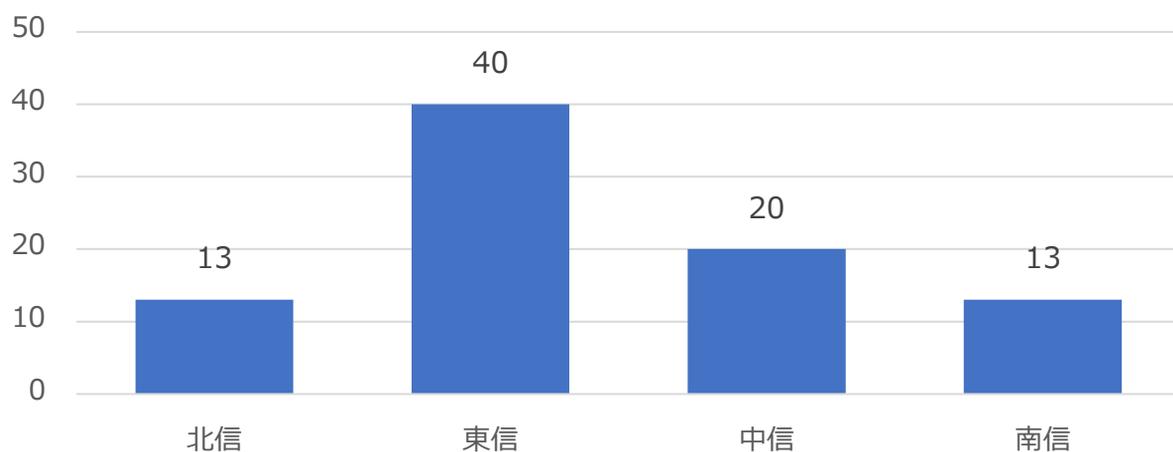


当事者（南信/外国籍）



- 中信エリアでは松本市に外国人が集中する結果となった。
- 南信ではブラジル人の数が多い傾向。

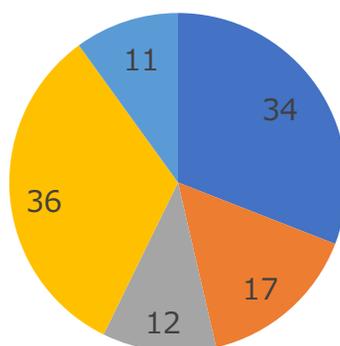
支援者（地域別）



※支援者：夜間中学に通うことを勧めたいと考える方と関係のある方（支援団体・地域の方・保護者など）

- ・東信の支援者が全体の46%と約半数を占めている。

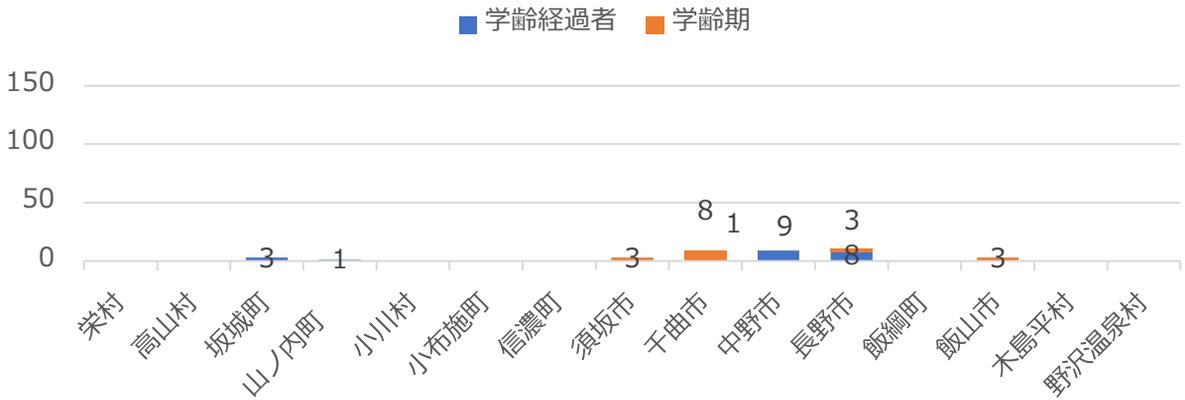
支援者（知らせたい理由）



- 外国籍や外国由来の方で、中学校の知識や技能などを学んでほしいから
- 現在不登校や家庭の事情等で中学に通えていないから
- 中学校は卒業したが、もう一度学び直してほしいから
- 中学校は卒業したが、不登校や家庭の事情で中学校にあまり通っていないから
- 中学校を卒業していないから

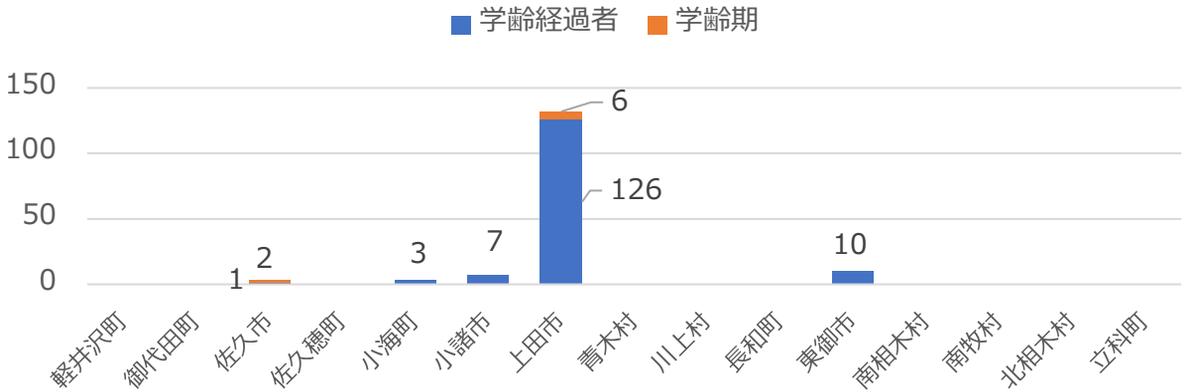
- ・需要別に見ると外国籍の方への需要と中学校卒業した方への需要が全体の63%を占めている。
- ・現在不登校で中学に通えていない層は全体の15%となっている。

当事者 支援者（北信の市町村別 知らせたい人の数）



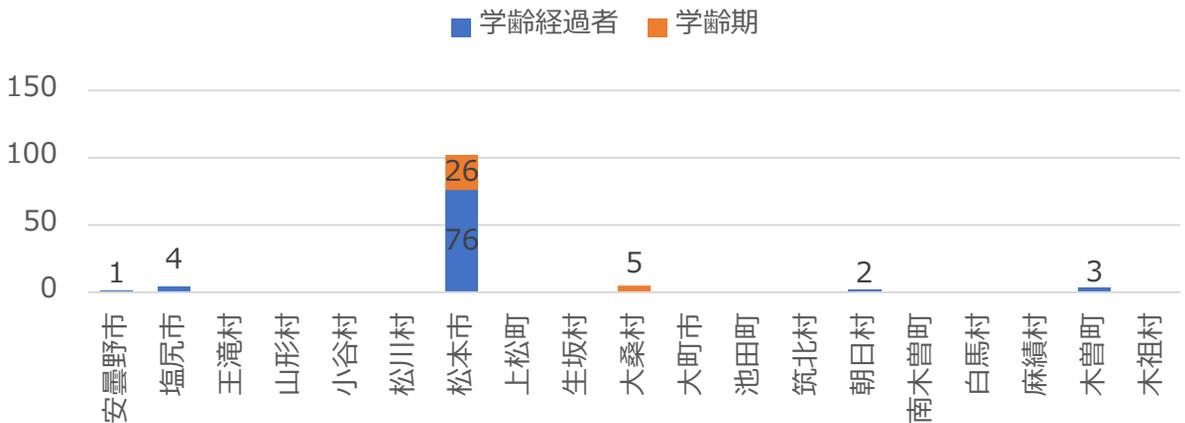
- ・長野市の他、中野市、千曲市に集中している。当事者の市別分布とやや一致している。
- ・中野市、長野市の学齢経過者の割合が高い傾向。

支援者（東信の市町村別 知らせたい人の数）



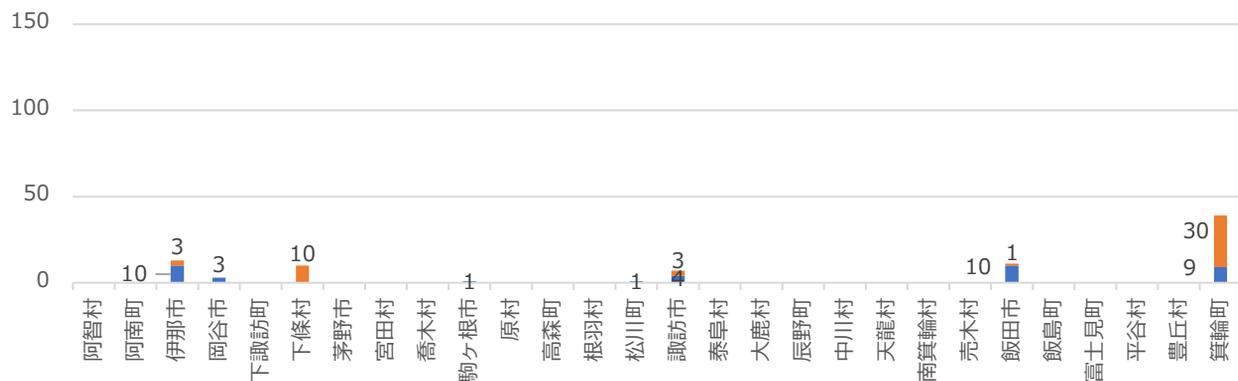
- ・当事者の分布同様、上田市が圧倒的に多い傾向。

支援者（中信の市町村別 知らせたい人の数）



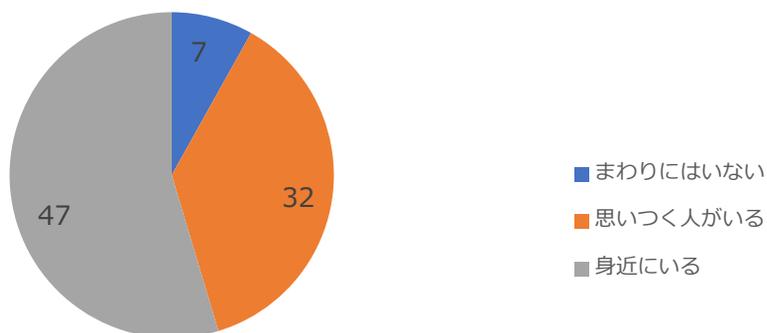
- ・当事者の分布同様松本市が圧倒的に多い傾向。

支援者（南信の市町村別 知らせたい人の数）



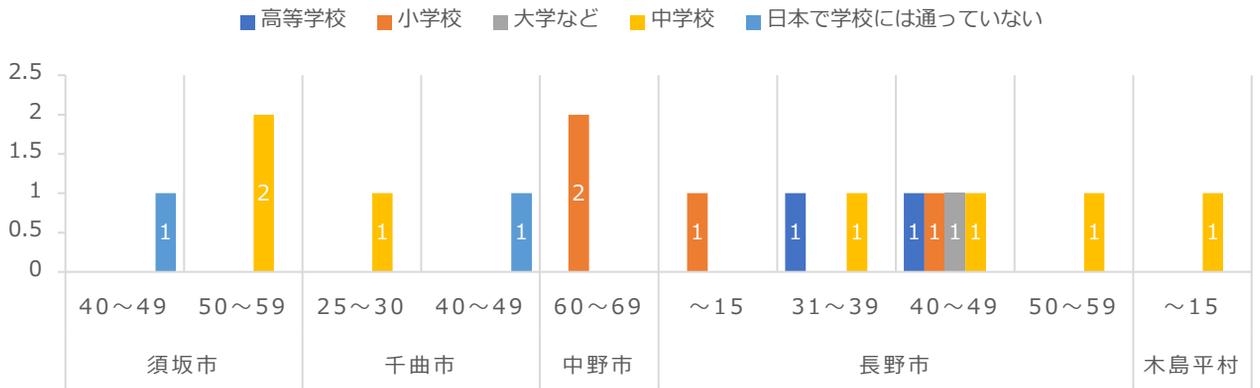
- ・当事者の市別分布と異なり、箕輪町の数が特に多い傾向。
- ・諏訪市、駒ヶ根市、岡谷市は当事者分布では見られなかったが、支援者側ではある程度知らせたい人がいることがわかる。

支援者（夜間中学を知らせたいと思う人）



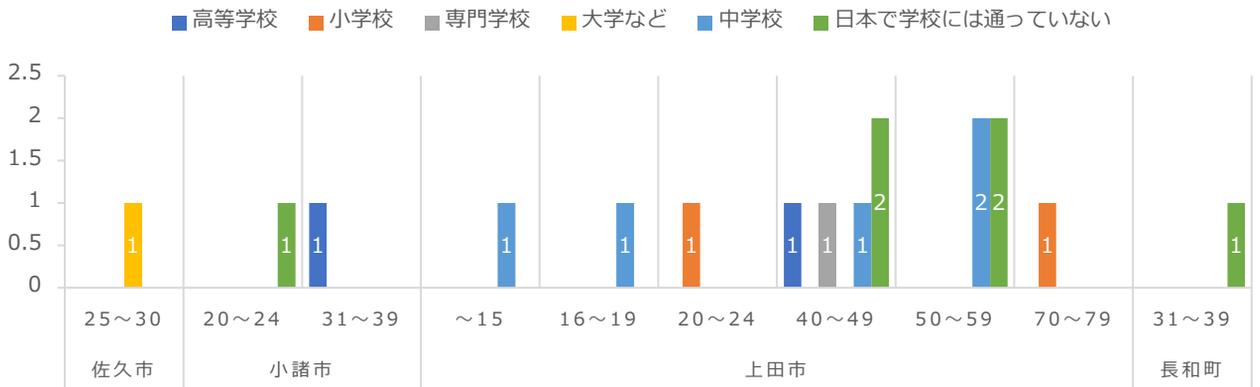
- ・支援者の回答者の55%と半数以上が身近に夜間中学を知らせたいと思う人がいると回答している。

当事者（北信 最終学歴/年齢）



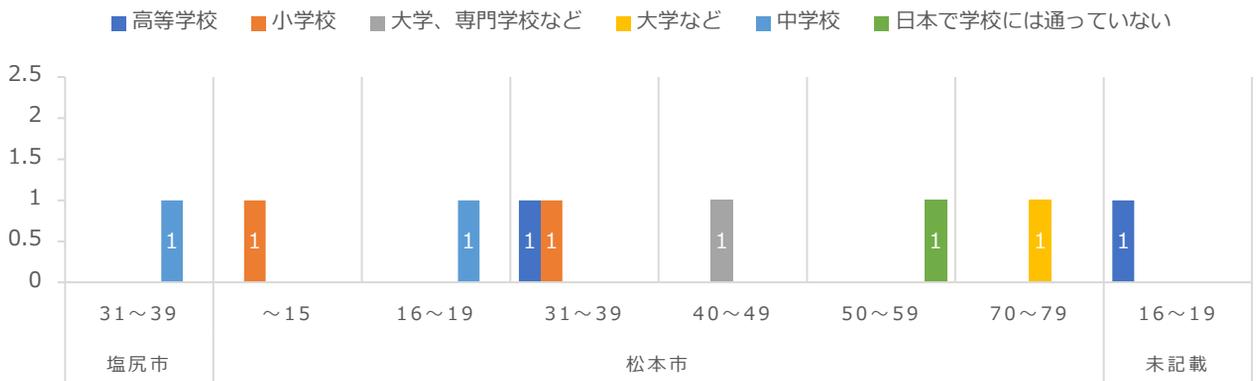
・中野市では60-69歳と高年齢の小学校最終学歴者が目立つ。

当事者（東信 最終学歴/年齢）



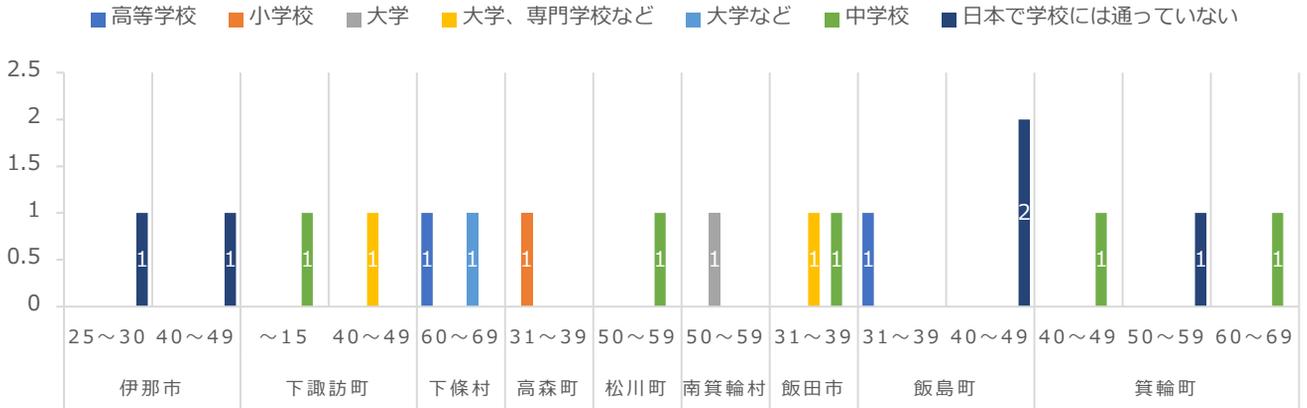
・上田市では40歳以上で学校には通っていないが目立つ。

当事者（中信 最終学歴/年齢）



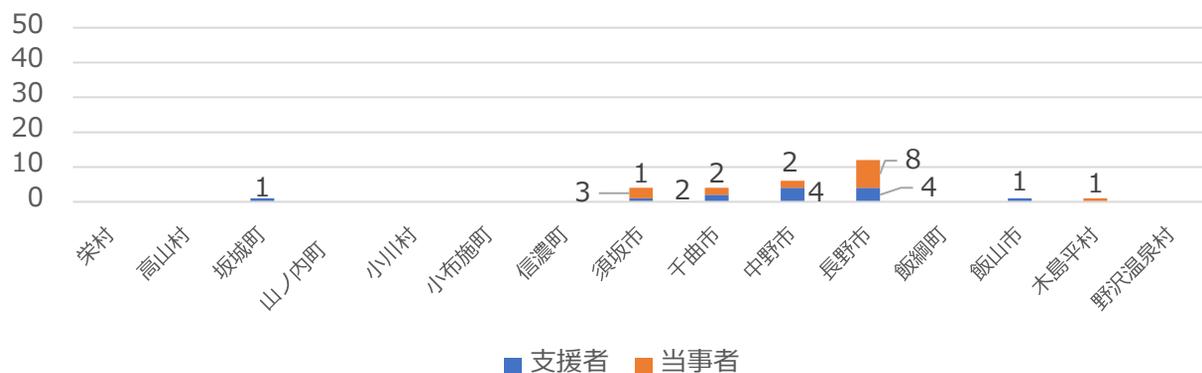
・松本市では70-79歳で大学卒者であるが、夜間中学へのニーズを持っていることがわかる。

当事者（南信 最終学歴/年齢）



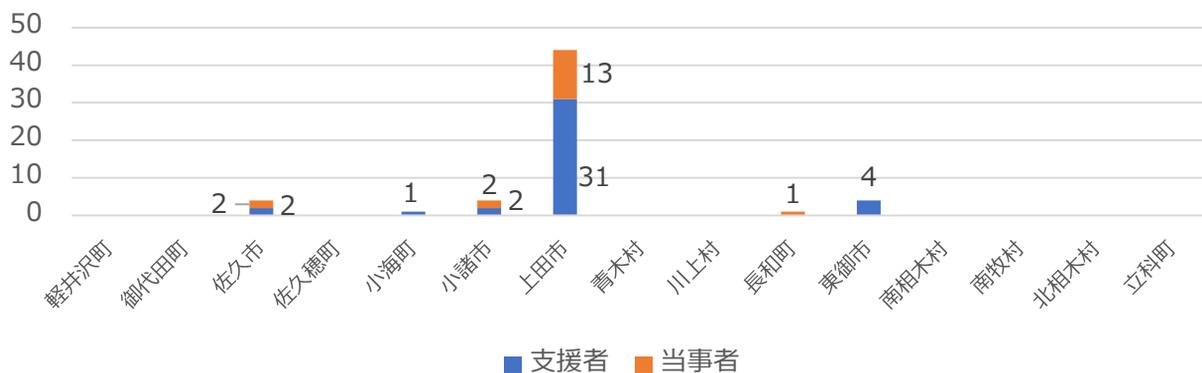
・各エリアで日本の学校には通っていない層があることがわかり、40歳以上がボリュームゾーンである。

当事者 支援者 (北信の市町村別二一ズ)



・当事者と支援者はほぼ同じエリアに集中している傾向。

当事者 支援者 (東信の市町村別二一ズ)



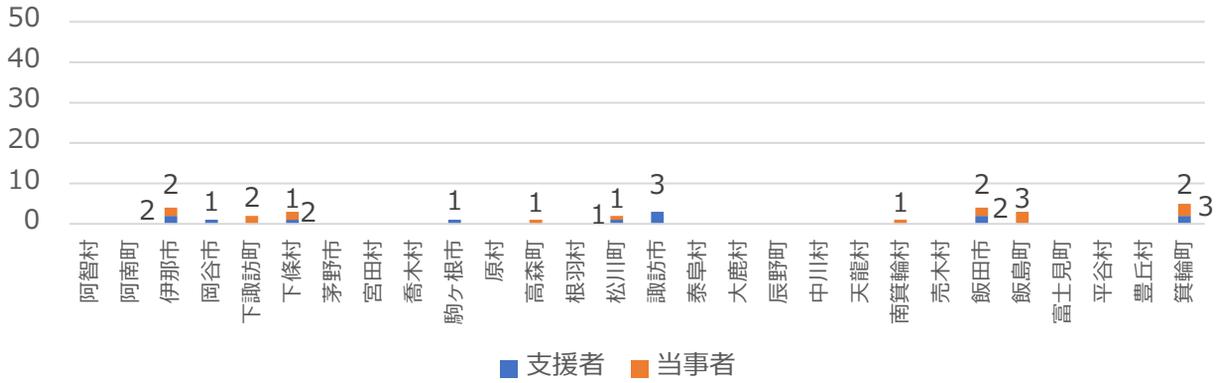
・支援者は上田市に集中している。当事者とのエリアの乖離はあまり見られない。

当事者 支援者 (中信の市町村別二一ズ)



・支援者、当事者ともに松本市に集中しているほか、各地に点在している傾向。

当事者 支援者 (南信の市町村別ニーズ)



- ・諏訪市、飯島町それぞれ支援者と当事者が別々で多い傾向にある。
- ・南信では都市部に一極化せず各地にニーズが分散していることがわかる。

夜間中学のことを 知らせたいと思う 人	夜間中学についての御意見や期待すること
身近にいる	不登校体験者などは集団が苦手な場合もあるし、外国籍の方も日本語に差があったりヤングケアラーになってる方もいるので、個別支援もしっかりしてほしいと思います。
身近にいる	障害福祉サービス提供事業の管理者です。知的障害や精神障害のある人にとって養護学校や特別支援学級でも一人の力で継続することが難しい人がいます。学びの機会があることで人生の選択肢が広がる人も多いと思いますが、家族以外の手助けが可能な仕組みがあると良いなと思いました。また子どもが教育の機会を得られるよう家族への支援や応援をする体制も必要だと思います。
身近にいる	とてもとても良い取り組みだと思います。息子2人が現在不登校です。早急に取り組んでいただけると助かります。宜しくお願い致します！
身近にいる	学校と言う枠を外れて、様々な人やカルチャーが交流できる場所、気軽に訪れることができる場所、繋がれる場所、ゆるく繋がれる場所であって欲しいと思います。
身近にいる	これからどんどん増えると思う。 行きたくない学校には、行く必要は、ないと思う。 子供たちのためにできる事をどんどんやって下さい。
身近にいる	小さくていいので各地区に作ってください。 本当は学区に1つほしい。自分で通えるように。
身近にいる	当事者からのアンケートを取っても当事者はそれを書けない読めない人もいるので返事することすら出来ずに本当に学び直したい人を把握出来るのかと困ってしまいます。回りの人が気がつける人がいれば良いですが。
身近にいる	是非とも、作ってほしいです！ せめて圏域ごとには欲しいです。 静岡市の夜間中学が大変よいと聞いています。 不登校児童生徒が、多世代多国籍の人たちと交流できれば、本当に貴重な居場所となるでしょう。
身近にいる	私の知っている人は生まれが中国の高齢の日本国籍の人で、中国で幼少期を過ごしたけれど日本でいう小学校卒業の資格しかなくて、日本に来てから日本の調理師の試験を受けようとしたが受験資格に中学校卒業というのがあって受験できなかったそうでして、夜間中学に行けば中学卒業の資格が手に入るならば、夜間中学のことを教えてあげたいです。
身近にいる	外国籍の方で高校に行きたい希望がある方や不登校で名目上は卒業した方にとって、再チャレンジができる場所が必要です。
身近にいる	ボランティアとして参加出来るのでしょうか？教員資格が無いと出来ないのでしょうか？な
身近にいる	生活日本語は何とか使うことができても、学習に必要な日本語を十分習得できていないために教科学習ができなかった子供たちが多くいる。年齢により、中学校レベルの学習ができないまま卒業させられてしまう。家庭の事情で登校できなかった子どもも多しかり。学び直しの必要な子どもたちは増加しているとおもわれる社会人として成長するために必要な、基本となる教育の保障の場が必要である。
身近にいる	松本市にも、外国由来の子どもたちがいます。 まずは、日本語を学ばなければ、生活できません。 学習の場所を是非つくっていただきたいです。

身近にいる	寛容で優しい先生が勉強教えてほしい
身近にいる	今すぐ通わせたい、出来るだけ早くお願いします
身近にいる	長野県は広く通学できる範囲が限られるので、各地域に分校・分室などができて、どの地域の人でも通えたらよりよいと思います。
身近にいる	選択肢が増える事は良いことだと思います
身近にいる	<p>本年3月にも同様のアンケート調査を行い、半年もしないうちに再び実施する県教委の意図がわかりません。また、各市町村教育委員会経由で調査依頼が来ても、不登校特例高校を目指しているのならば、少しは理解できますが主に学齢超過者のための夜間中学に学齢期の義務教育を扱うところから発信されても、対象となる方へのアンケートが届くのでしょうか。</p> <p>本当は県教委がやる気がない事の表れと誤ってしまいます。</p> <p>外国籍の方々が中学卒業資格、そして本人の努力で高校まで行って正規の就職できる社会に、教育は等しく誰でも受けられる事が当たり前になるよう、どこに学校を設置するか、だれが教えるかなど、役所側の都合ばかりの議論にならない事を願っています。</p> <p>人口減少社会で今後益々、外国籍の方がかぎを握る事を考えると、設置年度は決まっていますので将来に向けた議論をしてください。</p> <p>検討委員会に関わる皆さんのほとんどが教育者です。責務を果たしてください。</p>
身近にいる	<p>永く住む外国籍の皆様の学齢期途中から来日した二世三世にとって日本語と共に中学卒業資格そして就職につながる学習の機会が必要です。</p> <p>16歳から18歳で来日した方にとってもう一度義務教育課程に戻れる機会も必要です。</p> <p>さらに、外国籍の方に限らず、事情がありほとんど通学していない中学を名目上卒業した方々にとって再チャレンジできる機会を作っていただきたい。</p>
身近にいる	上田駅の近くのあると、坂城町・東御市からも通えます。
身近にいる	<p>私の子は、小学生ですが不登校です。</p> <p>田舎は、学校に行かれないと代わりになる居場所、オンライン授業やフリースクール、塾などの学習の選択肢や他者と関わり合いができる場所の選択肢がほぼないことに困っています。</p> <p>親の働き方も難しく、金銭面も負担になっています。</p> <p>夜間学校ができれば、選択肢のひとつとしてありがたいと思います。</p> <p>また不登校の子にも門戸が下がれば、そこのクラブ活動として、パソコン部とか、好きなことを追求できる場所を学校以外の講師の方を募って、できるといいかなと思います。</p> <p>ペーパー教員ですが、個人的にもボランティアとして協力したいと思います。</p>
身近にいる	県内にいくつか開校してほしい。
身近にいる	<p>上田市は外国籍住民の方が多く、定住する方が母国から子どもを呼ぶケースに触れるたび、義務教育での県教委、市教育の対応が現場任せになっています。一番苦しいのは、子どもです。</p> <p>再チャレンジができるかんきょうが必要で、更に16歳から18歳までの学齢超過は学ぶ所がありません。是非、上田市に夜間中学を設置して頂きたい。</p>
身近にいる	<p>娘は中学生の時、学びたい気持ちはあったが、不登校でほとんど通うことができませんでした。通信制高校を卒業したが、機会があれば中学での勉強を学びたい思いがあるようです。</p> <p>不登校の生徒が増える今、それぞれの希望に合った学び方を選べるよう、選択肢が増えることはありがたいことです。</p>
身近にいる	<p>外国籍の方にも日本の学校で学びたい、日常生活・就職先でも困ることがないようにした、こどもたちには高校まで行き、就職してほしいそんな声を多く聞きます。</p> <p>当事者アンケート内容を拝見しました。項目が多すぎる、いくら多言語でのアンケートでも、居住地などの質問は、長くこの地域に住んでいてもわからない、アンケート回答にもお手伝いをしてあげる方が必要です話す聞く力は長く日本に住んでいると習得できますが、アンケートになると読む書く力が必要となっていていきます。このようなアンケートがまず当事者には届かない。届いても個人の力では難しい。現場の声を聞けるようなアンケートを望みます。</p>

身近にいる	今現在、中1の息子が不登校です。箕輪中学にはフリースクールがありますが、そこに行ったとしても成績がつかえません。是非早急な設立をお願いします。
身近にいる	現在、不登校中ですが、なかなか居場所が家しかなく、外へ出ることがありません。知らない人が多いので、もう少し、発信していくと良いと思います。民間の高額な物が多いので、市や県でやって頂ける安価な物があれば助かります。
身近にいる	学校が設置されても、遠方だから、とか、引きこもりで、とか、様々な、事情で通学を断念する人も多いと考えられるので、通信学習も可能にしてほしい
身近にいる	長野市、松本市等に設置されると、南信地区に在住している方には通えません。今回、夜間中学を進めたい方は、下伊那郡在住で日中仕事をしています。南信のニーズは少ないかもしれませんが、希望者が1人でもいればその方が通えるような場所に設置してください。また、通学中の経済的な負担もできます。通学費用の助成や、学用品の給付、給食代等、公的な費用負担をお願いします。
身近にいる	小学校で不登校になっている子どもは通学区の中学校に進むことに様々な不安を感じている。そのような子どもが安心して学習できる場の充実を、夜間中学にも期待する。

思いつく人がいる	学び直しというよりも学校に行けなかったり行きづらかったりして居場所を感じられず孤立していく子どもが多いように感じる。なんとか無理して行ってものちに疾患や障害に転じたり社会生活へのダメージがあり、それは学齢期に始まっていることわよく目にする。それが自殺数にも無関係ではないのではないのでしょうか。そうした子は家庭の中にままならない問題も抱えていたり、見えない障害や被害背景を持っていたりすることも多く、そこに丁寧に関わり添う人も必要だと感じる。日中居場所を感じられない子にとって夜の居場所は重要だとも思います。そうしたケアの場としても夜間中学に期待をします。、
思いつく人がいる	不登校や外国籍の子達のための「学び直し」の場が必要だと感じています。ただ彼らの多くはこれまでの「学校教育」には馴染めなかったという背景があるので、そこを払拭できる場であって欲しいです。多様な人が関われる余地も残しておいていただきたいです。長野県にそういう場ができるととても嬉しいなと思います。
思いつく人がいる	現在不登校のお子さんで原籍校には行けない人や、中学卒業したけど不登校だったので通信制高校の課題をやるのに困難があつて学びなりたいという人なども行けたらいいなと思います。その場合、フルに9教科じゃなくて科目ごとの履修生とかがあつたらいいなと思います。
思いつく人がいる	夜間小学校も欲しいです。中学校以上に行けていない子は、だいたい小学校での勉強やコミュニケーションスキルでつまづいています。生活リズムも崩れていて、朝学校に行くことが難しいので、夜間まで行かなくても午後から、とか夕方からだと通いやすいです。
思いつく人がいる	長野県はとてもひろく、移動交通手段もかなり限られています。仮に夜間中学校ができたとして、自家用車のない人が、どうやって通えるだろうかと思います。私がイメージする人たちは、駅から遠いところに住んでいたり、自家用車の利用が限られているようなそういった環境にあります。そういう学習者と想定される人たちが置かれている環境を加味した制度設計をぜひお願いします。
思いつく人がいる	戦後の混乱や不登校など、意図せず学ぶ機会が無くなった方は無償で良い。ただし、好き好んで日本に滞在している外国籍の方も日本国籍者と待遇が同じなのは納得しがたい。(難民の方々は無償でも良いかと)
思いつく人がいる	これからの時代、外国籍の人々をいかに受け入れ共生していくかが問われる時代となるでしょう。夜間中学は日本語教育の場として大いに役立つと確信しております。中信地区に一日でも早く設立してほしいと願ってやみません。
思いつく人がいる	全員に無条件で無償支給の給食があることを望みます
思いつく人がいる	集団が苦手なお子さんに寄り添った支援もして欲しい。夜間中学が全て担うのではなく、様々な機関と連携し、こどもの学びを保障する手立てを考えてもらいたい。そのためには、予算も思いきって投入し、同時に先生方の働く環境も整えて欲しい。
思いつく人がいる	私自身は千葉県の中学校を除籍後、東京都の夜間中学で3年間学び直して卒業しました。現在は長野県内で公立学校教諭として勤務しておりますが、教員を志した経緯や自分の人生の基盤を築けたのは夜間中学の存在あつてこそです。長野県での設立に強く期待しております。
思いつく人がいる	夜間中学を通いやすいところに設置して欲しい。その後の進路先、夜間定時制高校を無くさないで欲しい
思いつく人がいる	夜間中学で学んだり、人との関わりを再度構築されて、仲間と一緒に夢や希望が広がり叶いますよう切に願います。
思いつく人がいる	この先、自国で十分な義務教育を受ける機会がなかった外国由来の方が増えるのではないかと考えています。日本語教育にも力を入れた夜間学校が、県内何箇所かに必要ではないかと思います。
思いつく人がいる	不登校の子どもや、学び直しをしたい人が、いつからでも学べる場であってほしい。
思いつく人がいる	中学卒業していない、外国籍など条件を付けず、学びたい人が誰でも行ける夜間中学であってほしい。特に不登校の子達は、夜間なら行けそうという子もいるとおもう。
まわりにはいない	子どもたちの新たな可能性が伸びる大切な機関なのでぜひ実現してください。
まわりにはいない	困窮者自立支援をしています。また、不登校経験者の保護者でもあります。外国籍の相談者に勧める選択肢の一つとして、夜間中学ができれば素晴らしいと思います。不登校経験者で学びなおしを希望する人のためにも設置を望みます。

総 括

- 今回の調査では北信、東信、中信では主に人口比率の高い都市、長野市、上田市、松本市が多い傾向にありながら、南信では地域ごとにニーズが見られた。南信では各地域にニーズを抱えている当事者が分散していることが見受けられる。
- 外国人ニーズでは東信にやや多く見ることができた。通ってみたいニーズも上田市で特に多く、夜間中学を求める外国人の声が大きいかうかがえる。
- 支援者のニーズは東信に特に多く見られた。夜間中学を知らせた人数も多く、当事者の調査と比較してもニーズが高い地域と考えられる。
- 当事者、支援者からのものでは都市圏や北信など主要地域のみでの設置ではなく、できるだけ広域に設置して欲しいとの意見が見られた。特に南信では市町村ごとにニーズが分散しており、夜間中学を求める声が広範囲に見られた。